

# 分散技術で漆の高機能化を実現

## 漆の新たな活用を目指した薄膜巡回分散漆の創出

成果  
事例

- 漆中の水粒子を高分散にすることで、これまでにない光沢を有する漆を開発
- 光劣化により急速な光沢の減少が問題であった漆の光沢保持時間を改善
- 屋外や常時光にあたる場所への漆の活用

### 連携先概要

株式会社 佐藤喜代松商店

所在地：京都府京都市

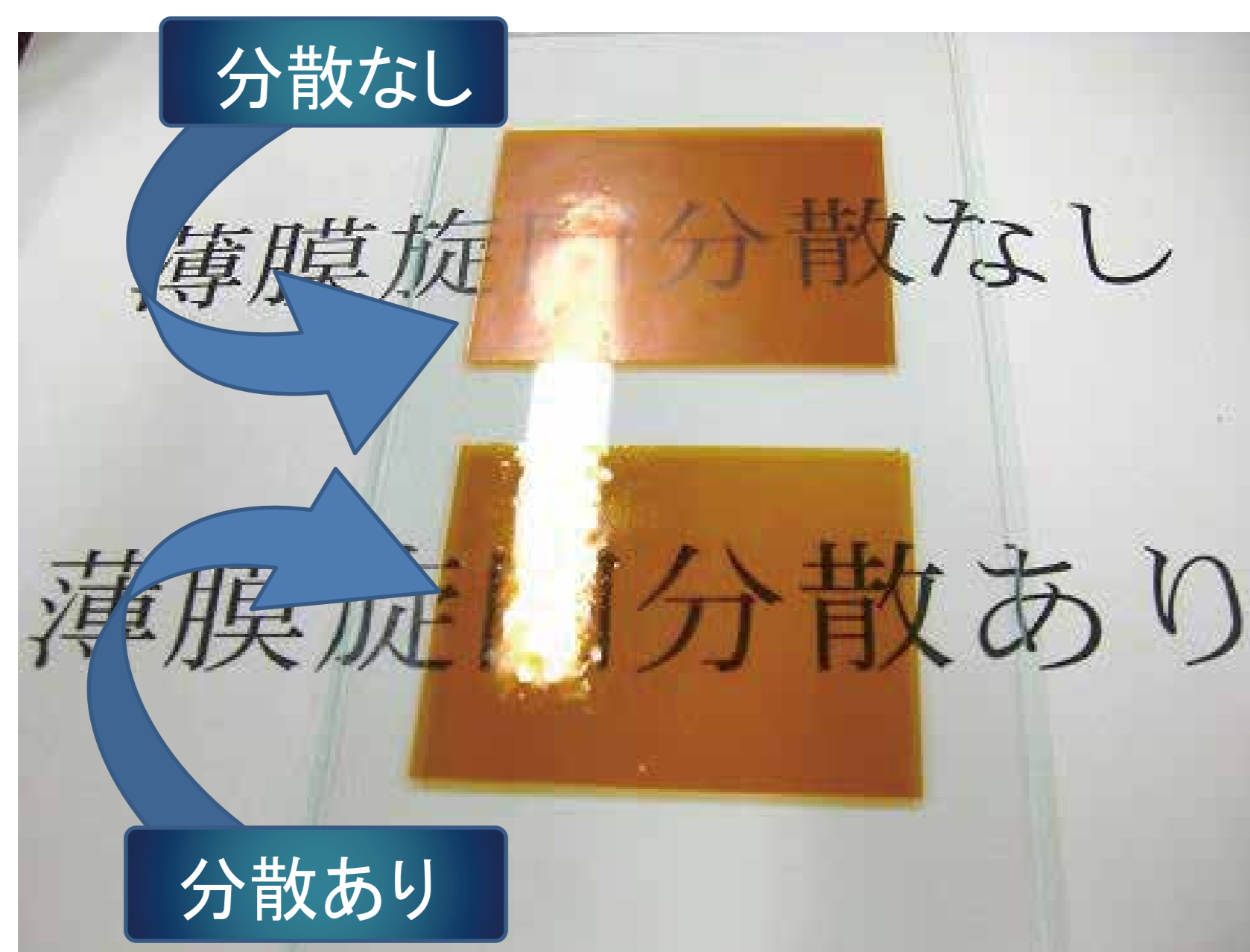
事業概要：精漆業、精製漆の開発

### 成果概要・特徴

本研究は、佐藤喜代松商店と共に分散技術を駆使し、漆中の水粒子を細かく均一にすることにチャレンジしてきました。分散条件を詳細に検討することで、これまでにない高い光沢を持つ漆「薄膜巡回分散漆」を作り出すことに成功しました。本研究により、漆塗膜が光によって劣化し急速にその光沢を失う(ボロボロに見える)というデメリットを打ち消し、光沢を維持することが可能となります。そのため、これまで漆が不得意としてきた屋外や常時光のあたる場所への応用が期待できます。

本成果を用い、京都市役所の漆塗りエレベーターや、ロボットの装飾に採用されるなど、用途がさらに広がっています。今後も、屋内外に塗装可能という「薄膜巡回分散漆」の特徴を活かして、ガラスへの漆塗りなど新たな活用を目指していきたいと考えています。

※特許第 6432020 号取得済み



分散の有無による漆塗膜の違い  
(蛍光灯を反射させており、分散ありの漆塗膜  
(下部)の方がはっきりと蛍光灯が見える)



漆塗り加工が施された  
パーソナルモビリティ  
[RODEM] ((株)テムザック)



漆塗リエレベーター

### キーワード

薄膜巡回分散漆、漆、分散技術、屋内外用塗装

### 京都市産業技術研究所

産業技術支援センター 製品化・人材育成支援グループ

橘 洋一

連絡先：taqbb964@tc-kyoto.or.jp

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

